

報道関係各位
プレスリリース

2026 年 9 月 1 日
株式会社ゼロボード

ゼロボード、Kieran Burke が CTO（最高技術責任者）に就任

～ 変化し続けるサステナビリティ課題に対応する、
柔軟でアジャイルな技術基盤の構築をリード ～

企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、Kieran Burke（キーラン・バーク）がこのたび CTO（最高技術責任者）に就任したことをお知らせします。Kieran は 2024 年の「Dataseed」の事業譲受を通じて当社に参画し、以来、同事業に関連するプロダクトの開発を牽引してきました。今後は当社の技術戦略全体を統括し、プロダクトとデータ、AI の活用を掛け合わせた開発体制のさらなる強化を牽引します。



■ 就任の背景とビジョンの体現に向けた今後の開発方針

創業以来当社は、GHG（温室効果ガス）排出量の算定・可視化ソリューション「Zeroboard」を中核に、企業の脱炭素経営・サステナビリティ経営を支援してまいりました。現在では、GHG 算定にとどまらず ESG 領域へとプロダクトを拡張し、サステナビリティ開示対応までを一貫して支援しています。こうした取り組みのもと、国内外あわせて 15,000 社以上にご利用いただいています。

一方で、ESG・サステナビリティ領域は新しい規制や課題が次々と生まれる分野であり、お客様の課題が広がるにつれて、当社が提供するソリューションも増加・進化を続ける必要があります。そこには多くの技術的な挑戦が伴い、柔軟かつアジャイルな開発体制を維持し続けることが不可欠です。

当社はビジョンとして「サステナブルな経営判断を実現するデータプラットフォーム」を掲げ、データの収集・可視化にとどまらず、AI 技術を活用しながら、経営の意思決定と実行につながるプロダクトという方針のもと開発を進めてまいります。

今回の CTO 就任により、Kieran はこれまで培ってきた知見と実行力を、当社全体の技術戦略に活かしていきます。

第一に、排出量算定、開示、サプライチェーンのデータ収集、サプライヤー評価など、これまで別々の業務として扱われることが多かった機能群を、ひとつのプラットフォーム上でシームレスに連携させ、“サステナビリティのワンストップ・プラットフォーム”となることを目指し、プロダクトとユースケースの間のつながりを強化していきます。

第二に、お客様の課題解決に長年向き合う中で蓄積してきた業務理解を活かし、システム内の情報の流れを見直すことで、より使いやすいプロダクト体験を届けていきます。

第三に、データ収集における最も大きな負担である「信頼できる状態を保ちながらデータを集める」というプロセスに AI を活用し、OCR による書類データの読み取りやサプライヤー回答への改善フィードバックなどを通じて、お客様の手作業を減らしていきます。

■ CTO Kieran Burke の紹介



<経歴>

英国イースト・アングリア大学で数学の学士号を取得後、ロンドンにてビジネスアナリストとしてキャリアをスタート。要件定義やテスト戦略の策定など、ソフトウェア開発の上流工程を担う。その後来日し、Cogent Labs にて OCR 技術を支える API の開発・スケーリングに従事するなど、大規模ドキュメント処理やクラウドインフラの領域で実務経験を積む。バックエンド、システム設計、運用安定性、スケーリングにおける技術的な強みを基盤としながら、複数の SaaS 企業・スタートアップでシニアエンジニア、エンジニアリングマネージャーを歴任。見積もり・計画・リリース・品質・オンボーディングにわたる開発プロセスの構築や、クロスファンクショナルなチームの育成を通じて、スケーラブルで再現性の高い開発体制づくりをリードする。2024 年 7 月、「Dataseed」の事業譲渡に伴いゼロボードへ参画し、マルチプロダクト成長開発部門のマネージャーとして、ESG データマネジメント、情報開示レポートシステム、サプライチェーンマネジメント・SAQ 製品の戦略と実行を統括。2026 年 8 月、CTO に就任。技術的な意思決定を全社の事業戦略と結び

つけながら、全社の技術戦略と組織能力の開発を牽引する。

<コメント>

ESG は、新しい規制と新しい問題が次々に出てくる領域です。お客様の課題が広がるにつれて、私たちのソリューションも増やすか、進化させる必要があります。そこには多くの技術的な課題が生まれます。だからこそ、柔軟でアジャイルであり続ける必要があります。私の経験は、それをゼロボードの中で実現するために生かせると考えています。

私はビジネスアナリストとしてキャリアを始め、その後エンジニアになりました。Cogent Labs などのスタートアップでは、セキュリティや監査といったエンタープライズ水準の要件を満たしながら、スケールする基盤をつくる方法を学びました。2024 年の「Dataseed」の事業譲受を通じてゼロボードに加わったことで、それまでのスタートアップで学んだことを、より大きなプラットフォームに持ち込むことができました。新しいプロダクトと取り組みという形で、その中心にあるのが「Dataseed」プラットフォームです。

これからの技術的な課題に向き合う準備はできています。データを世の中に対して透明にする。Making the World Clear. この目指す姿を、技術の側から実現していきます。

■ 会社概要

社 名 : 株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://www.zeroboard.jp/>)
所 在 地 : 東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー10 階
代 表 者 : 代表取締役 渡慶次道隆
設 立 : 2021 年 8 月 24 日
事 業 内 容 : ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューション「Zeroboard Sustainability Platform」の開発・提供／サステナビリティ経営に関するコンサルティング／ユーザーコミュニティ「All Aboard!」の運営

■ Zeroboard Sustainability Platform の概要

ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューションです。豊富なプロダクトラインナップによって、ESG 開示をはじめとするサステナビリティ経営に必要なプロセスをシームレスに支援します。

- GHG（温室効果ガス）排出量算定と環境項目管理クラウドサービス「Zeroboard」
- ESG 法定開示クラウドサービス「Zeroboard ESG」
- 動的サプライヤー情報管理クラウドサービス「Dataseed」



これらのプロダクトを中心に業界特化型のプロダクト、各種オプション機能、制度対応や複雑な算定のためのコンサルティングを提供し、企業のサステナビリティ経営を支援しています。

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、サステナビリティ経営のためのウェビナーを毎月開催しています。国内外のサステナビリティの最新動向や、「Zeroboard」をはじめとした各種ソフトウェアの活用方法などを解説しておりますので、ぜひお申し込みください。詳しくは当社ウェブサイトの[イベントページ](#)をご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

各商品・サービスについて（営業本部） sales@zeroboard.jp

報道やご取材について（広報） pr@zeroboard.jp